

兵庫県 の 地震 活動

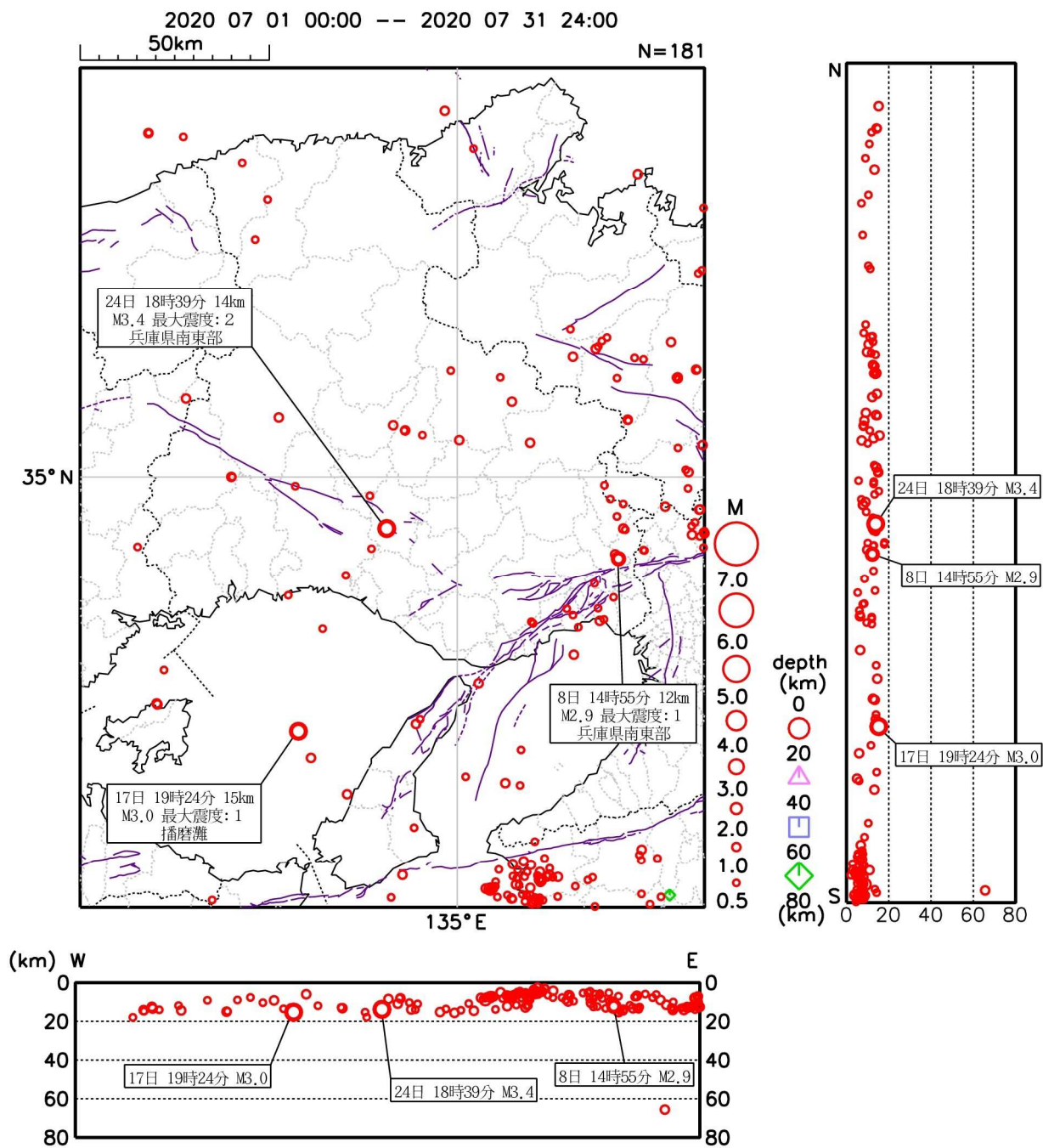
2020 年（令和 2 年） 7 月

| | |
|--------------------------|---|
| 震央分布図・断面図 | 1 |
| 概況 | 2 |
| 兵庫県で震度 1 以上を観測した地震一覧表 | 2 |
| 兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図 | 3 |
| 一口メモ | |
| 大人も子供も「津波への備え」 | 4 |

- * 「兵庫県の地震活動」は月 1 回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするとともに、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図・断面図



左上：震央分布図 右上：東から見た断面図 左下：南から見た断面図
注) 分布図の紫線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

概 況

―― 7月の概況――

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を3回観測しました。

8日14時55分 兵庫県南東部の地震（深さ12km、M2.9）により、西宮市、三田市で震度1を観測しました。

17日19時24分 播磨灘の地震（深さ15km、M3.0）により、洲本市で震度1を観測しました。

24日18時39分 兵庫県南東部の地震（深さ14km、M3.4）により、加古川市で震度2を観測したほか、三木市、高砂市、加西市、加東市、姫路市、宍粟市、多可町、市川町、神河町で震度1を観測しました。

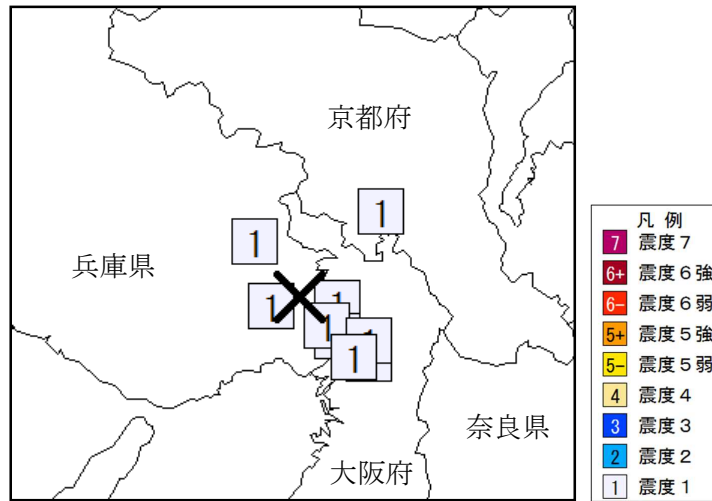
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

| 地震発生日時 震度（兵庫県内） | 震央地名 | 緯度 | 経度 | 深さ | マグニチュード | 全国最大震度 |
|--|--------|-------------|--------------|------|---------|--------|
| 2020/07/08 14:55 震度1： 西宮市名塩＊, 三田市下里＊ | 兵庫県南東部 | 34° 50.4' N | 135° 22.9' E | 12km | M2.9 | 震度1 |
| 2020/07/17 19:24 震度1： 洲本市五色町都志＊ | 播磨灘 | 34° 30.0' N | 134° 37.3' E | 15km | M3.0 | 震度1 |
| 2020/07/24 18:39 震度2： 加古川市志方町＊ 震度1： 加古川市加古川町, 三木市細川町, 高砂市荒井町＊, 加西市下万願寺町, 加東市河高＊, 姫路市安田＊, 姫路市香寺町中屋＊, 姫路市豊富＊, 姫路市本町＊ 姫路市白浜＊, 宍粟市山崎町船元＊, 多可町八千代区＊, 多可町中区＊, 市川町西川辺＊, 兵庫神河町寺前＊ | 兵庫県南東部 | 34° 53.9' N | 134° 49.9' E | 14km | M3.4 | 震度2 |

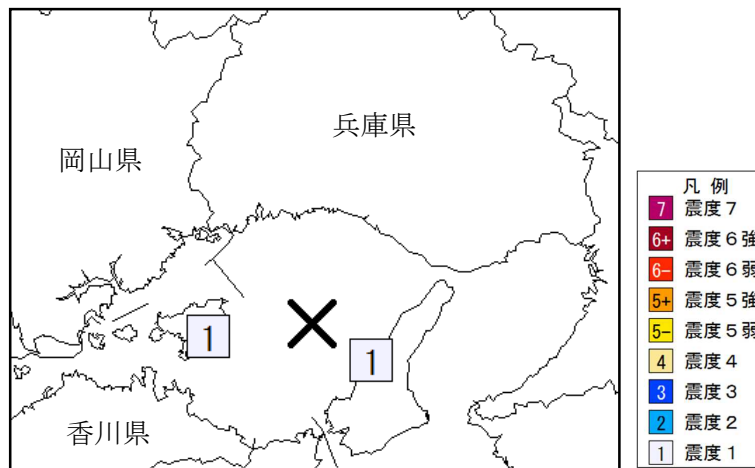
震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載されます。なお、＊印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図

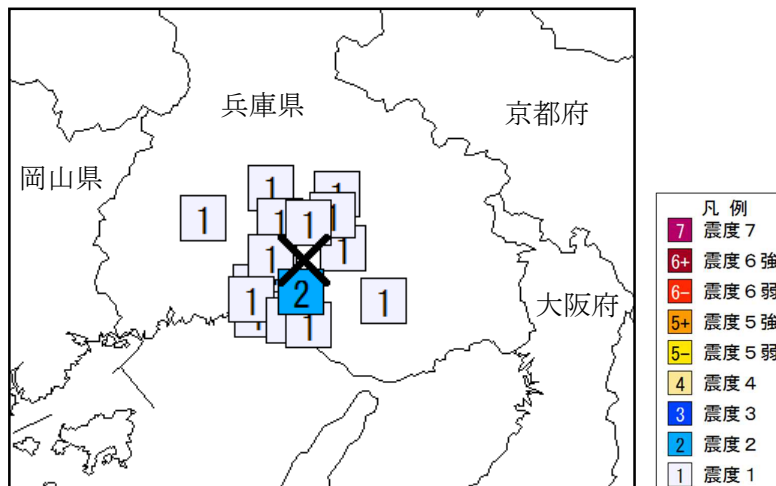
7月8日 14時55分に発生した、兵庫県南東部の地震による震度分布図。×印は震央を表す。



7月17日 19時24分に発生した、播磨灘の地震による震度分布図。×印は震央を表す。



7月24日 18時39分に発生した、兵庫県南東部の地震による震度分布図。×印は震央を表す。



一口メモ 大人も子供も「津波への備え」

気象庁では、津波から命を守るための参考資料をホームページ等で公開しています。今回は、大人だけでなく子供にもわかりやすい資料を紹介します。子供たちと一緒に「津波への備え」について考えてみませんか。

【津波防災啓発アニメ「津波からにげる」を見てみよう】



https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/anime.html

津波から命を守るため、迅速かつ自主的に避難するという意識の向上と日頃から津波に備えることの大切さを学ぶことを目的に、小学生以上を対象に作成されたアニメーションです。本編では、東日本大震災における岩手県釜石市立鶴住居(うのすまい)小学校の子供たちが、避難先を何度も替えながら、より高い場所を目指して津波から逃げる様子が再現されています。自分たちと同世代の避難の様子が描かれる

ことで自分達のこととして受け入れやすく、子供のうちから継続的に津波の避難訓練を実践することの大切さについて学ぶことができます。

【津波防災ハンドブックを使って、家族で話し合ってみよう】

http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd/index.html#handbook

アニメ視聴後には、「津波防災ハンドブック」を見ながら、アニメの内容を振り返ったり、自分たちの住む地域の避難場所がどこにあるかなど確認してみましょう。いざという時のために家族で話し合うことも大切な備えです。



【「防災マップ」を作ってみよう】

学校の行き帰りで地震が起こったら、子供たちはどこに逃げればよいでしょうか。もしもの時に備えて、子供たちと一緒に通学路などを歩き、危険なもの、安全なもの、役に立つものを地図に記し、防災マップを作ってみましょう。普段は通行できる道が、ブロック塀の倒壊によって通れなくなっているかもしれません。防災マップを自分たちの手で作ることにより、街の安全なところがどこにあるのかがわかり、すぐに避難することに役立ちます。



〔左写真〕防災マップを作成する様子
〔下 図〕完成した「防災マップ」

